

(8 2) 群馬県の鉾石山鉾山跡

参考文献(1)を手引きに、鉾石山鉾山の探査に出かけた。現地は容易に確認でき、手頃な標本も幾つか採集することができた。

現地への経路は以下の通りである。関越道を沼田 I C で出る。1 2 0 号を東に進み、6 4 号に入り、2 6 3 号に入り、桜川に沿って北上していく。上界戸地区の三叉路から、約 2 . 3 k m 当たりの左側に、林道が延びている。この林道は、鉾石山の登山口ともなっている。図 2 中の温泉印の所である。本道から、この林道にはいと直ぐに、鉾石山ハイキングのための案内板がある。案内板にはハイキングコースと共に、鉾山記号が記載されており、鉾石山鉾山の位置が一目にしてわかる。林道は車で登っていける。標高約 9 0 0 m 当たりで、林道は大きく右折する箇所到達する。細い登山道は真っ直ぐ沢に沿って上へと延びている。ここで駐車する。簡易トイレもあり、指導標もしっかりとしている。現地地形図には道は途中までしか記載されていないが、現在ではしっかりと先まで延びている。登山道を上り、標高約 1 1 0 0 m 当たりの左側に、鉾山跡がある。周り一帯にザクロ石が点在している。文献(1)によれば、この鉾山では研磨剤としてザクロ石の露天掘りをしていたとのこと。登山道を先へ行くと、直ぐに、トロッコレールが登山道に延びている。

探査日 2 0 1 1 年 5 月、その他

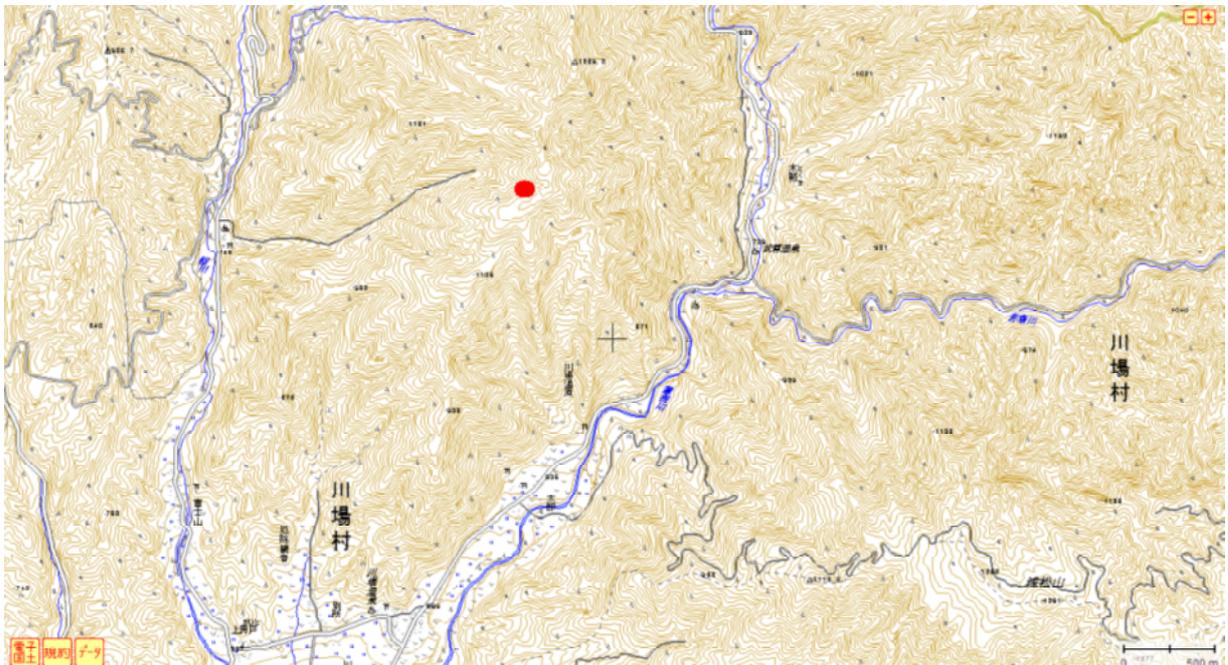


図 1 国土地理院の地図サービスホームページより複写。赤丸のあたりが鉾石山鉾山跡。現在では、道はこの先にも延びており、鉾石山へのハイキングコースともなっている。登山道の整備は行き届いている。詳細は図 2 を参照。

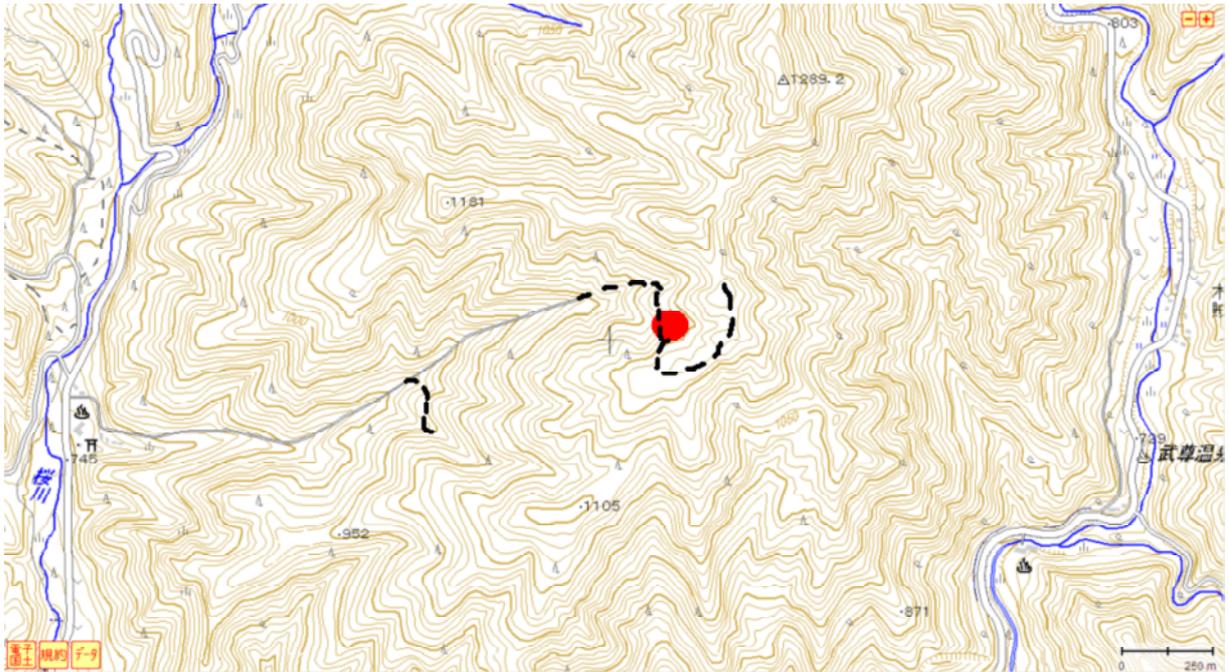


図2 図1の拡大図。林道・登山道を書き足している。標高900mあたりで、車を駐車させ、登山道へと進む。鉾山跡は、尾根に近いあたりにある。標高差200mを登っていく。

鉾山跡写真



写真1 263号の右側に林道が延びている。鉾石山への登山道であるが、車で先に進める。



写真2 標高約900mのあたり。広場となっている。写真の左少し上には簡易トイレがある。ここに車が駐車できる。中央に登山指導標が立っている。鉾石山方向に足を進める。



写真3 標高1100mの登山道の左側に鉱山跡がある。周り一帯にザクロ石が転がっている。



写真4 写真3で見て、左側に赤茶色したザクロ石の露頭があった。



写真5 鉱山跡の先の登山道には、トロッコレールが先まで延びていた。ハイキングコースなので、登山道の整備は行き届いている。時間の余裕があれば、鉱石山山頂に行くのも良いであろうが。あまり見通しは良くないようである。

採集鉱物写真

ザクロ石の標本は、採集できる。美形の標本は未だ採集できていないので、掲載は無し。1mm~2mmの微結晶が群生したのも採集できよう。採集したザクロ石を、E S C Aで分析した。CaとFeのラインが出た。灰鉄ザクロ石と判断した。

参考文献 (1)「日曜の地学 5 群馬の自然をたずねて」野村 哲、築地書館、1998年。